

N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO<sup>®</sup>/AC Enterprise マルチサーバオプション

Ver5.3

1 ライセンス / 4 ライセンス

UL1046-603

UL1046-613

UL1046-H603

UL1046-H613

UL1046-J603

UL1046-J613

セットアップカード (08 版)

# ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.3をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.3をご使用になる前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

CLUSTERPRO、ESMPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。

Smart-UPS、PowerChute、APC は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社の登録商標または商標です。

VMware ESXi は VMware, Inc の登録商標もしくは商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

# 目次

第1章	製品内容 .....	4
第2章	セットアップの準備 .....	5
2.1	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのセットアップ環境 .....	5
第3章	セットアップの方法 .....	7
3.1	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール .....	7
3.2	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのアンインストール .....	12
第4章	注意事項 .....	16
4.1	セットアップ関連 .....	16
4.2	共有フォルダ関連 .....	16
4.3	ウィルススキャンソフト関連 .....	16
4.4	WebSAM SigmaSystemCenter の管理対象サーバ関連 .....	17

# 第 1 章 製品内容

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.3のパッケージの内容は、製品に同梱されている「構成品表」に記載されています。

添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

## 第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをご使用になるためには、マルチサーバ構成内に管理サーバとして ESMPRO/AC Enterprise Ver5.3 以降がセットアップされている必要があります。ESMPRO/AC Enterprise のセットアップ方法は ESMPRO/AC Enterprise のセットアップカードを参照してください。

### 2.1 ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのセットアップ

#### 環境

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをセットアップするためには、次の環境が必要です。

##### <ハードウェア>

対象機種 : Express5800シリーズ、NX7700xシリーズ、iStorage NSシリーズ、  
iStorage Mシリーズ(NASオプション)

メモリ : 7.5 MB 以上

固定ディスクの空き容量 : 40.0 MB 以上

##### <ソフトウェア>

Windows Server 2019 Standard/Datacenter  
Windows Server 2016 Standard/Datacenter  
Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter  
Windows Server 2012 Standard/Datacenter  
Windows 10 Pro ※2  
Windows 8.1 Pro ※2  
VMware ESXi 5/6 ※1

最新の対応OS状況は、以下をご参照ください。

[http://jpn.nec.com/esmpo\\_ac/](http://jpn.nec.com/esmpo_ac/)

→ 動作環境

→ 対応OS一覧

※ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサポートされている必要があります。

※ Windows Storage Server 2016/2012 R2/は、iStorage NSシリーズのみに対応しています。

<http://jpn.nec.com/istorage/product/nas/ns/lineup.html?>

※1 Express5800シリーズにVMware ESXiをインストールし、ESMPRO/AC Enterpriseによる電源管理/自動移行を行う場合、以下の注意事項があります。

- VMware ESXi の電源制御を行う際、VMware ESXi に使用するライセンスに条件が発生します。

ESXi Hypervisor エディション等の無償版ライセンス製品では、電源制御が行えません。Standard エディションなど有償ライセンス製品をご利用ください。

- 仮想サーバ(ESXi)および(ESXi上で動作する)仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。制御端末のライセンス管理ツールにてESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。

※2 当該OSは「WebSAM SigmaSystemCenterの管理対象サーバ」として登録することはできません。

下記サイトに公開しています。未適用のアップデートがございましたら、ダウンロードし適用してください。

<https://www.support.nec.co.jp/PHome.aspx>

- 修正物件ダウンロード
- 製品名・カテゴリから探す
- ESMPRO/AutomaticRunningController

ESMPRO/ACにて仮想マシンの順序シャットダウン/順序起動を行う場合は、下記資料をご参照ください。

[https://jpn.nec.com/esmpro\\_ac/](https://jpn.nec.com/esmpro_ac/)

- ダウンロード
- 各種資料
- 仮想マシン順序設定マニュアル

# 第3章 セットアップの方法

## ※注意

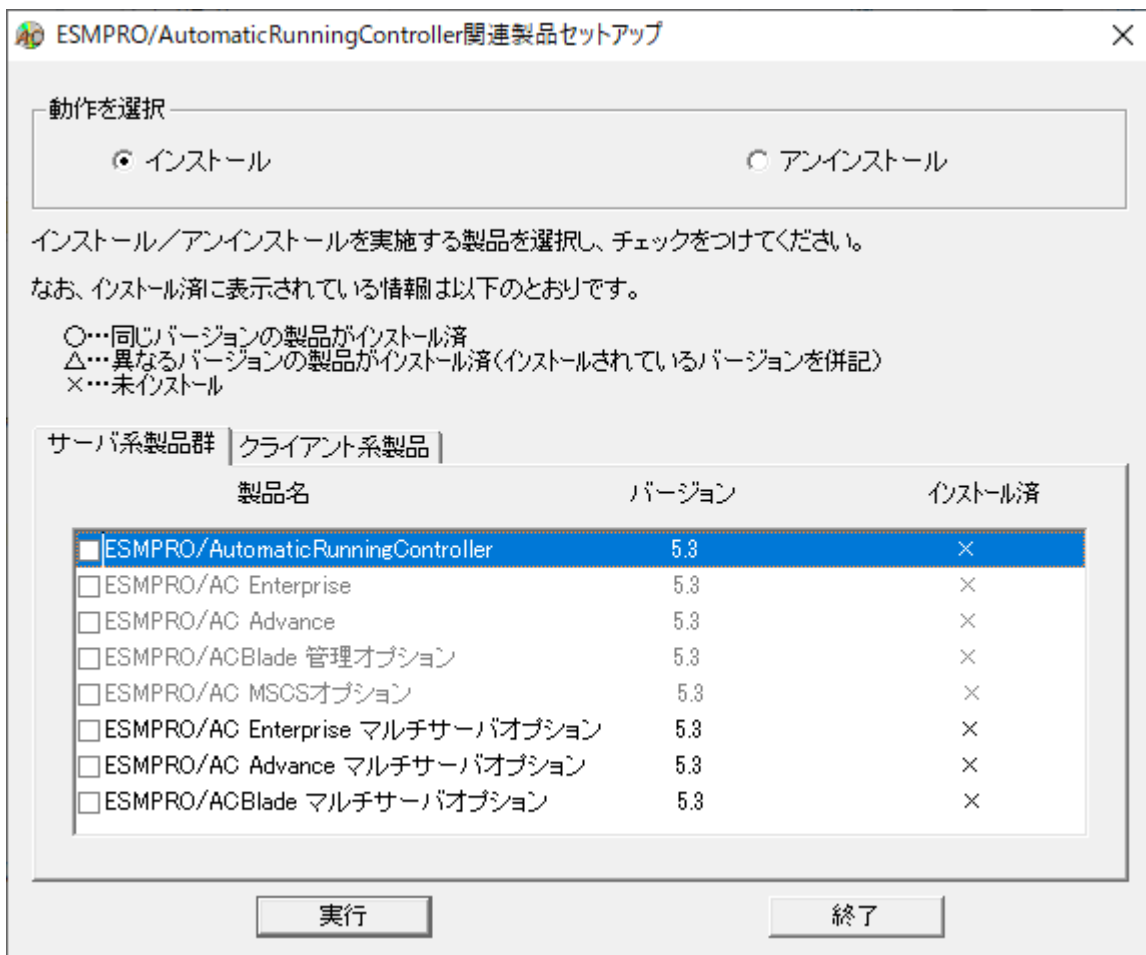
対象サーバにVMware ESXi をインストールしている場合、以下のセットアップ作業は不要です。製品添付のライセンスキーの登録を行ってください。

ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Enterprise をセットアップした制御端末上の[スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO\_AC ライセンス]から行ってください。

ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップカードを参照してください。

## 3.1 ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール

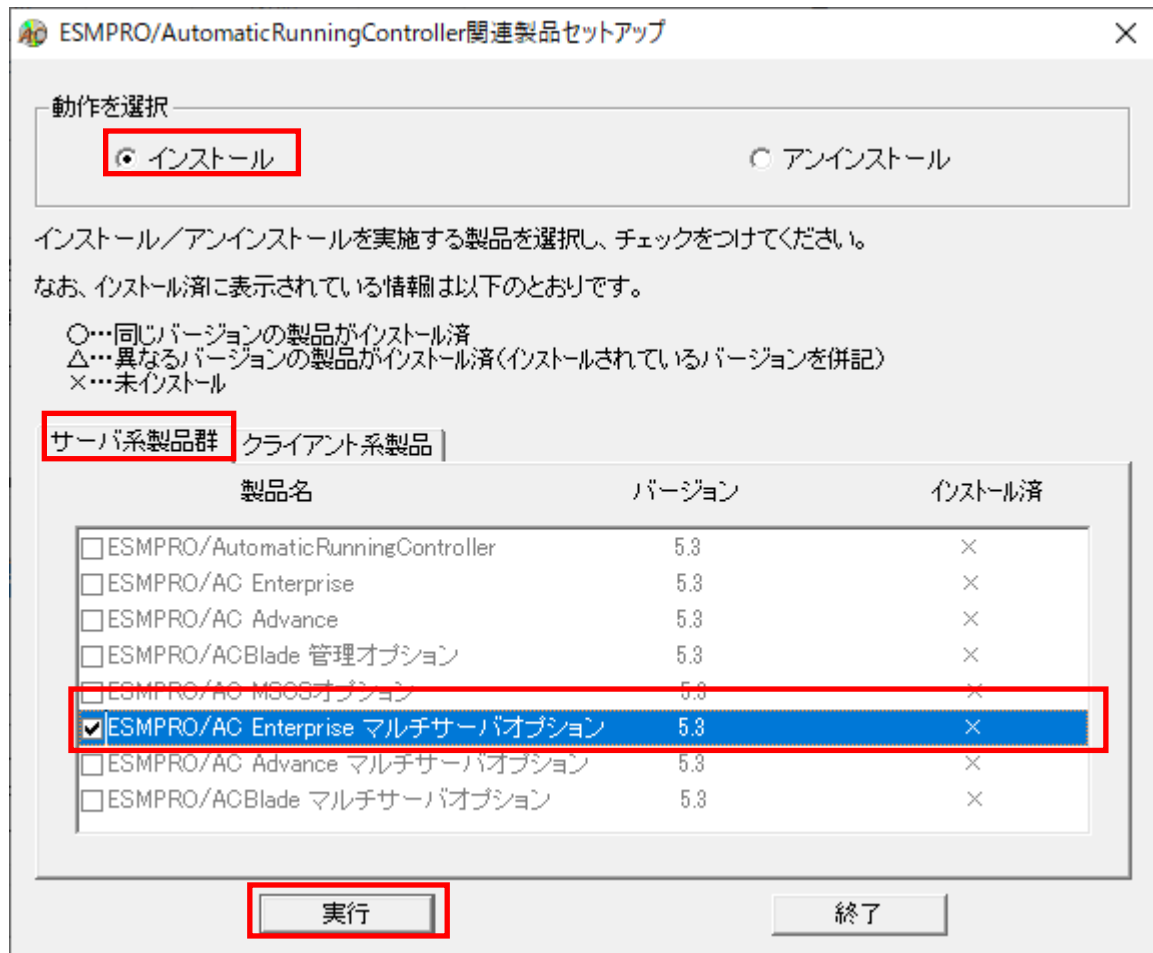
- (1) Administrator もしくは Administrator 権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.3』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。



異なるバージョンの製品がインストールされている場合、インストール済の欄に△(バージョン)が表示されています。

下位バージョン(Ver5.0以上)からのバージョンアップインストールを実施される場合は、通常のインストールと同様に行ってください。その際、設定内容はそのまま引き継がれます。

- (3) 「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。



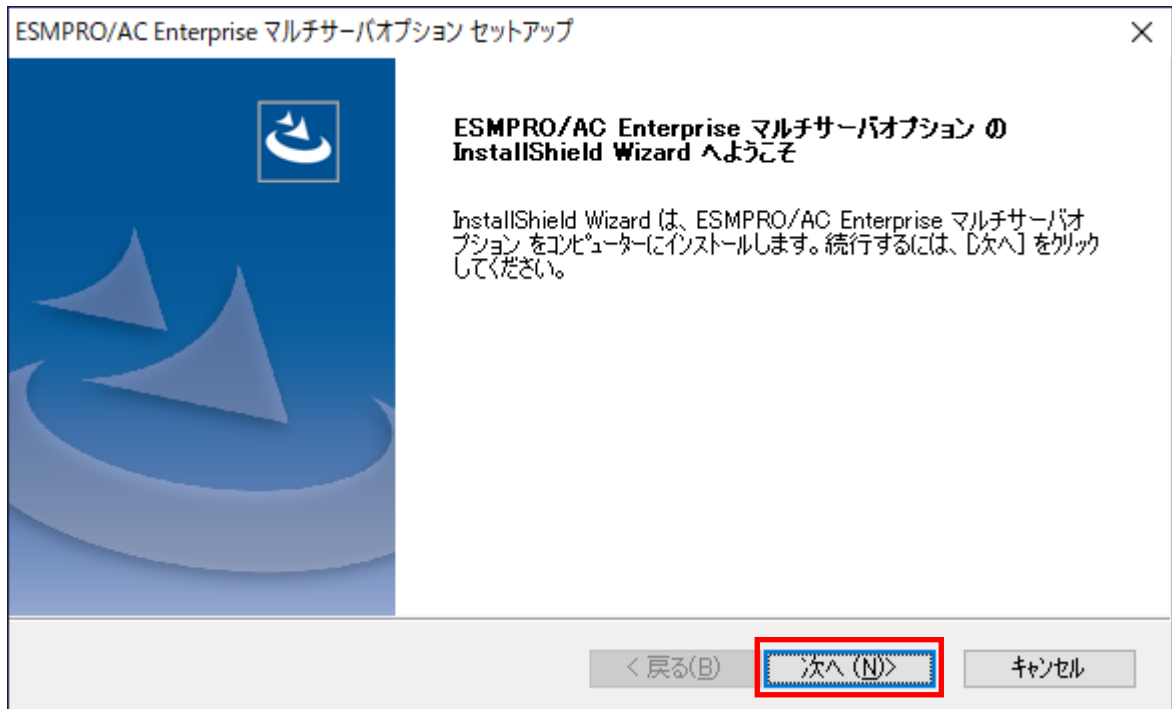
(4) 「実行」ボタンを選択します。

(5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

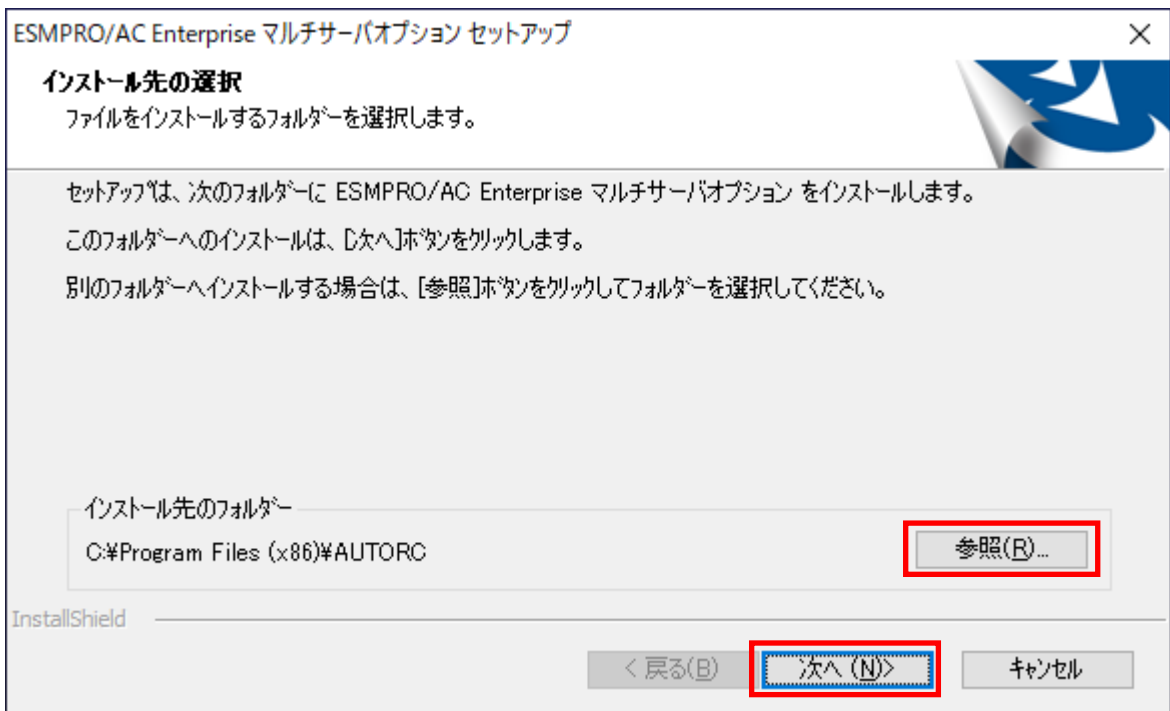




- (6) ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのセットアップが開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

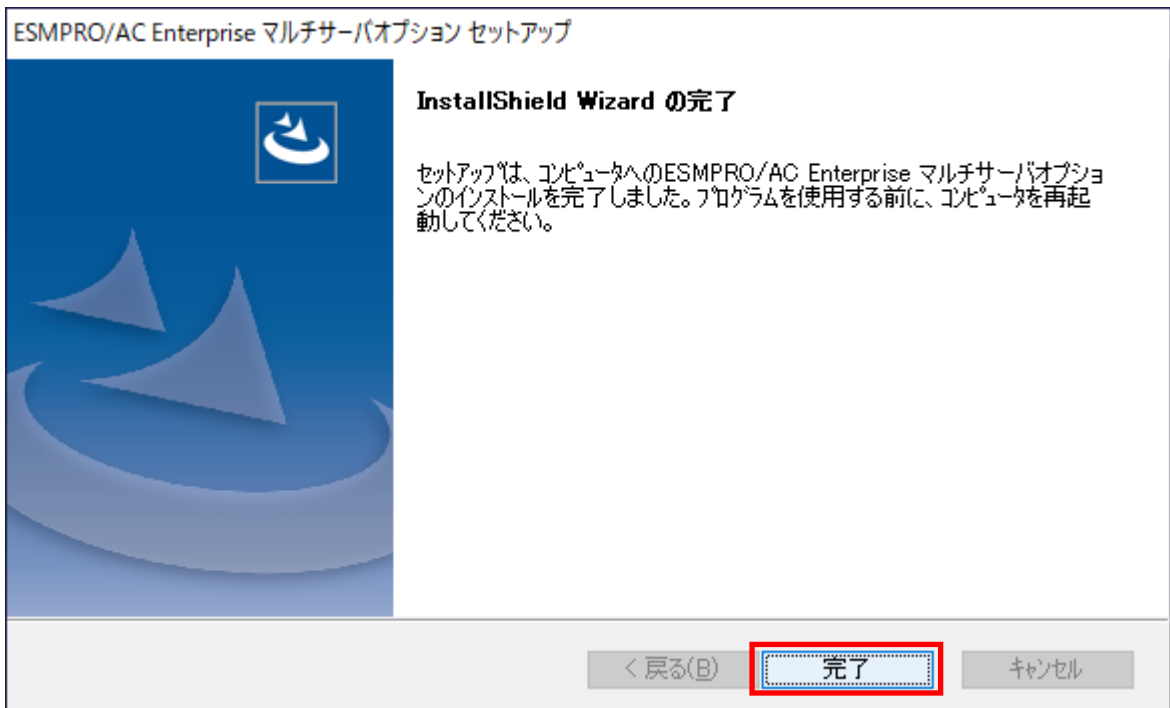


- (7) 続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

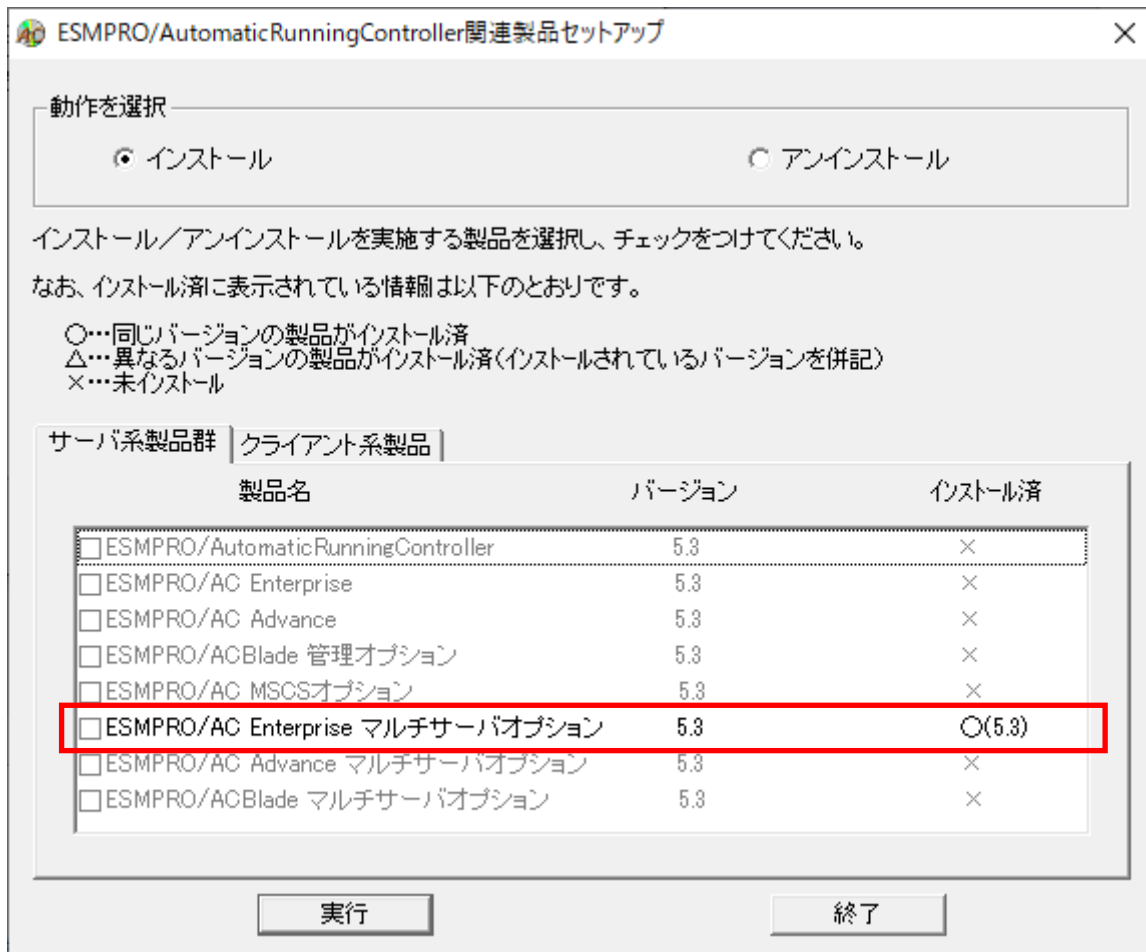


- (8) ファイルの転送が開始されます。

- (9) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (10) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール済欄に○およびバージョンが表示されていることを確認します。



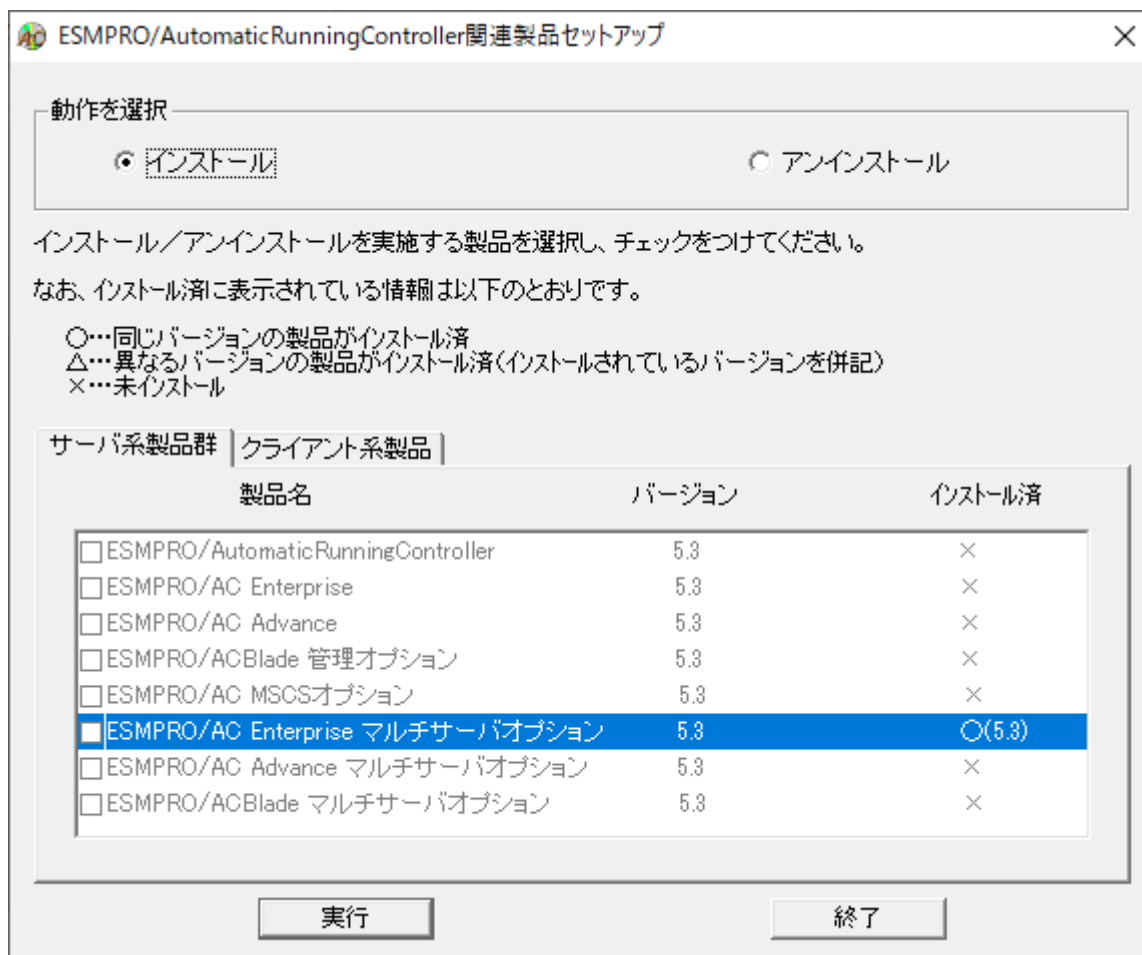
- (11) インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。
- (12) 最新のアップデートを適用してください。アップデートの適用方法につきましては、ダウンロードしたアップデートモジュールに付属のREADME.TXTをご参照ください。
- (13) ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Enterpriseをセットアップした制御端末上の[スタート] -> [すべてのプログラム] -> [ESMPRO/AutomaticRunningController]->[ESMPRO\_AC ライセンス]から行ってください。  
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照してください。

### 注意

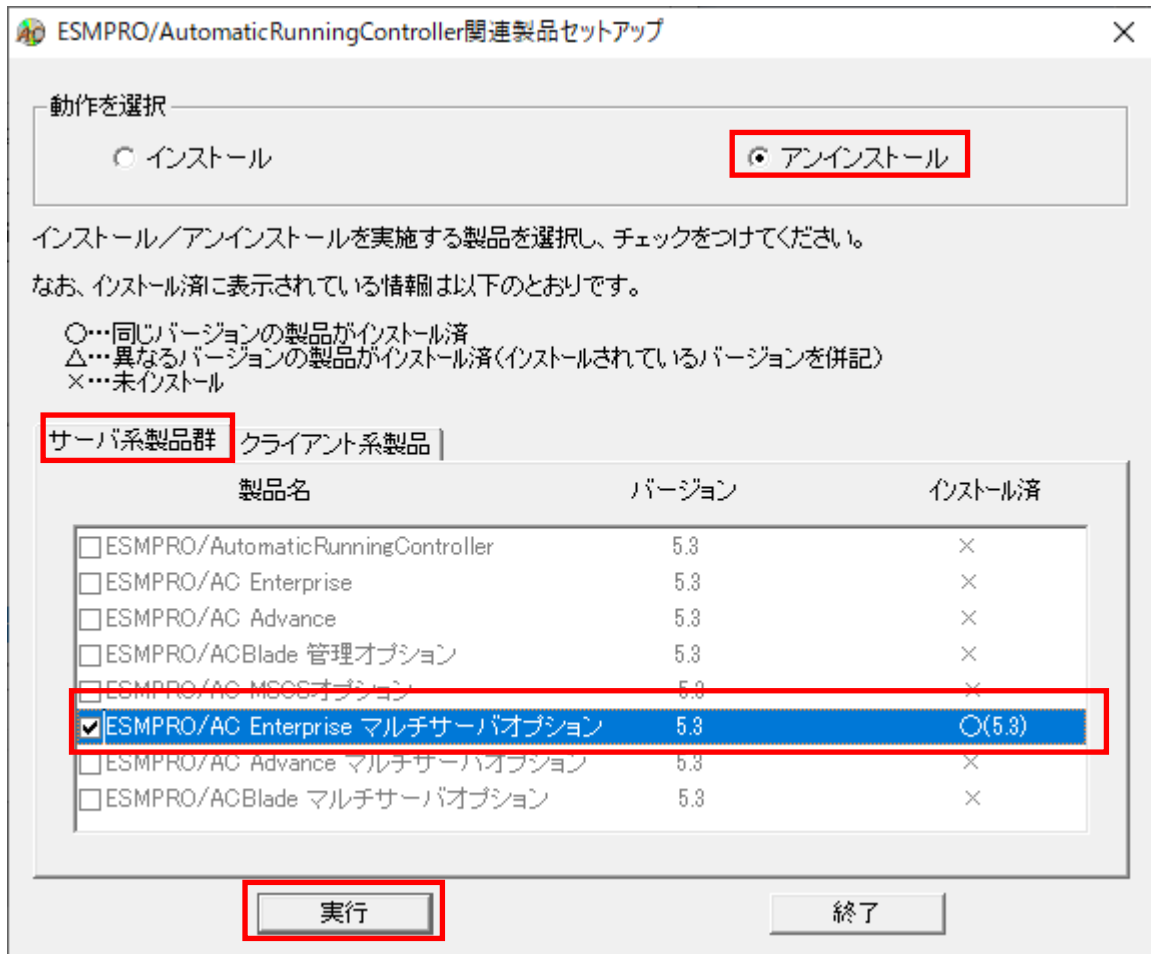
- バージョンアップセットアップの場合は、上記(6)～(7)の手順が省かれ、インストールが実行されます。インストール先を変更することはできません。また、バージョンアップセットアップでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。

## 3.2 ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのアンインストール

- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.3』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

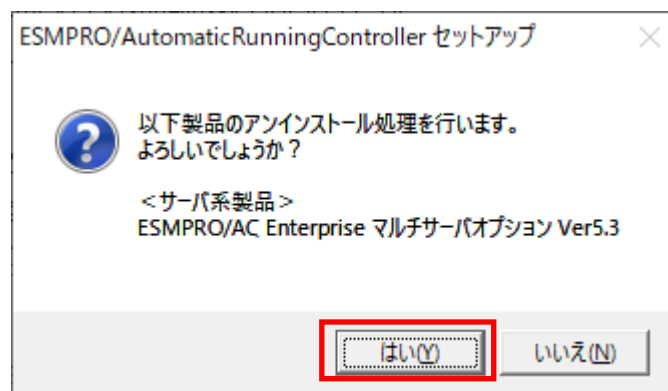


- (3) 「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

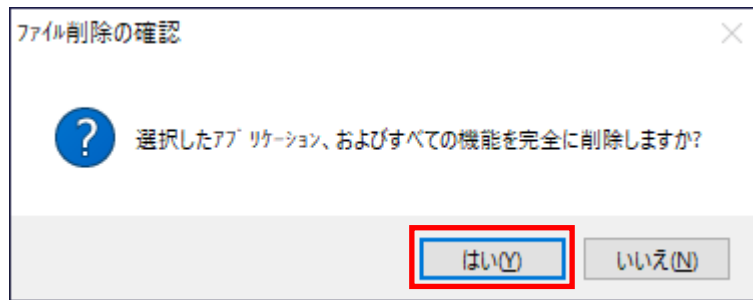


- (4) 「実行」ボタンを選択します。

- (5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

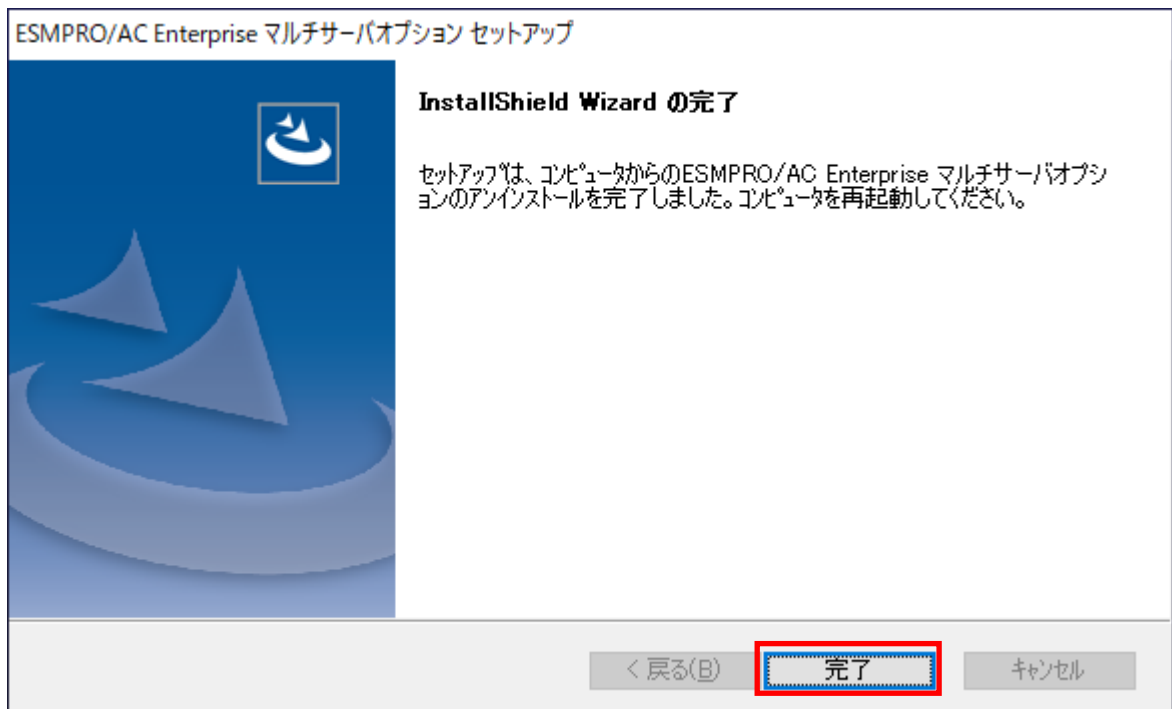


- (6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

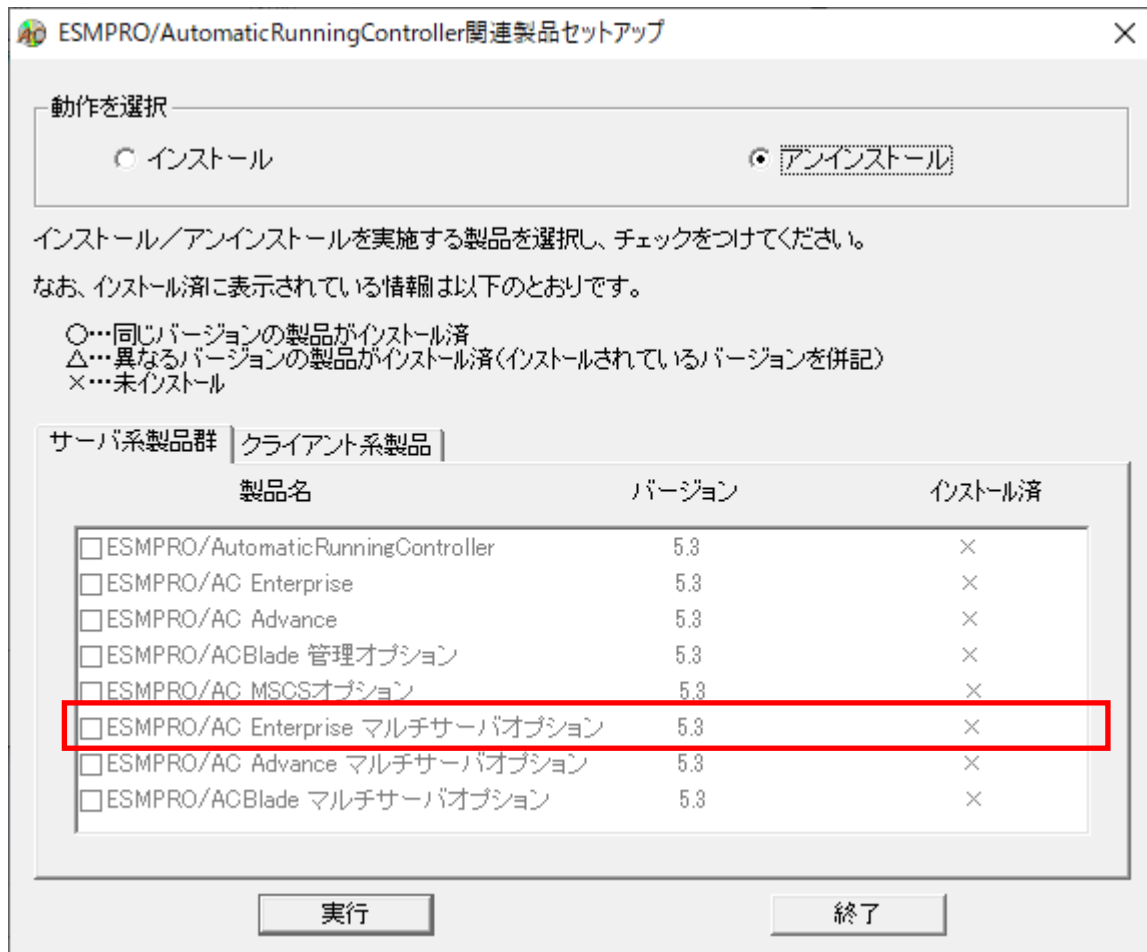


- (7) ファイルの削除が行われます。

- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール済欄に×が表示されていることを確認します。



- (10) アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

## 第4章 注意事項

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのご使用にあたり、次の事項にご注意ください。

### 4.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.3 は、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.3 のオプション製品です。従って、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.3 をインストールし、AC Management Console (AMC) 機能にて、本サーバを制御対象として登録してある制御サーバが、LAN 上に必要です。設定方法の詳細については「ESMPRO/AC Enterprise Ver5.3 セットアップカード」を参照してください。
- (2) 本バージョンの ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションは、JIS2004 で新規追加された文字に対応しておりません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。
- (3) 連動端末として、Express5800 シリーズに ESXi をインストールし、ESMPRO/AC Enterprise による電源管理/自動運転を行う場合、以下の注意事項があります。
  - VMware ESXi の電源制御を行う際、VMware ESXi に使用するライセンスに条件が発生します。ESXi Hypervisor エディション等の無償版ライセンス製品では、電源制御が行えません。Standardエディションなど有償ライセンス製品をご利用ください。
  - 仮想サーバ(ESXi)および(ESXi上で動作する)仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。制御端末のライセンス管理ツールにてESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。

### 4.2 共有フォルダ関連

Windows マシンにインストールした ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションでは、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、ESMPRO/AutomaticRunningController + ESMPRO/AC Enterprise がインストールされたサーバ上の GUI からリモート接続する場合に使用します。

### 4.3 ウィルススキャンソフト関連

ウィルススキャンソフトがインストールされた環境で運用される場合は、以下のファイルをスキャン対象外に設定してください。

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストールディレクトリの DATA 配下にある SCHEBASE.APC

- 例) インストール先が C:\Program Files (x86)\AUTORC の場合  
C:\Program Files (x86)\AUTORC\DATA\SCHEBASE.APC  
をスキャン対象外に設定してください。



## 4. 4 WebSAM SigmaSystemCenter の管理対象サーバ関連

- (1) 連動端末を「SSC管理対象サーバ」として登録する場合は、AMCの連動端末設定画面(「連動端末(サーバ情報)」ダイアログ)の「SSC管理対象サーバ」チェックを有効にします。

連動端末 (サーバ) ×

制御端末により、電源制御されるサーバを登録します。

SSC管理対象サーバ

サーバ種別 Windowsサーバ

名称  (コンピュータ名: 15文字まで。  
Linuxの場合は大/小文字を区別する必要あり)

コンピュータ名を大文字に自動変換する。

仮想マシンの順序制御を行う。 仮想マシン順序設定

仮想マシンを自動起動する。

クラスタ識別名 ClusterID

ドメイン  (ドメイン名を登録。例: example.com)

IP address  ネットワーク情報取得

ユーザ名  (対象サーバに接続可能なユーザ名、パスワード)

パスワード  サーバへの接続確認

説明

ブラウザ設定

シャットダウン開始待ち合わせ時間  Sec

リモートシャットダウンジョブ  参照(S)...

Advance option mode

電源ON  Remote Wake Up  SSC

リモート起動用 MAC address

リモート起動用 IP address

リモート起動用 ネットマスク

OK キャンセル

- (2) 連動端末を「SSC管理対象サーバ」として登録し、リモート起動を行うために「Advance option mode」を有効にします。

「Remote Wake Up」を選択する場合は、Wake On LANによる起動ができるように、BIOS設定においてWake On LANの設定を有効にしてください。また、サーバ装置のBIOSの設定でAC-LINKを「Power ON」にしておいてください。BIOSの設定変更の方法については、サーバにより異なりますので、サーバ本体添付のマニュアルを参照してください。なお、AC-LINKは、サーバ機種により「After Power Failure」あるいは「Automatic Power-On」と記載されている場合があります。

「SSC」を選択した場合は、AC-LINKを「Stay OFF」（UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする）に設定してください。その上でWebSAM SigmaSystemCenter側にてOut-of-Bandの設定を行なってください。

連動端末 (サーバ) [X]

制御端末により、電源制御されるサーバを登録します。

SSC管理対象サーバ

サーバ種別

名称  (コンピュータ名: 15文字まで。  
Linuxの場合は大/小文字を区別する必要あり)

コンピュータ名を大文字に自動変換する。

仮想マシンの順序制御を行う。

仮想マシンを自動起動する。

クラスタ識別名

ドメイン  (ドメイン名を登録。例: example.com)

IP address

ユーザ名  (対象サーバに接続可能なユーザ名、パスワード)

パスワード

説明

シャットダウン開始待ち合わせ時間  Sec

リモートシャットダウンジョブ

Advance option mode

電源ON  Remote Wake Up  SSC

リモート起動用 MAC address

リモート起動用 IP address

リモート起動用 ネットマスク